2024 年度　JMO 事業報告

公益財団法人　数学オリンピック財団

＜１＞　国内大会の取り組み

１．JMO 予選の実施

⑴ 予選の実施方法と結果

・応募受付期間：9 月 1 日～10 月 25 日

・試験：2025 年 1 月 13 日(成人の日)に、全国 71 会場で実施した。

応募者数は 5,358 名（昨年より 266 名増）で、当日は 4,921 名（昨年より 310 名増）の生徒が参加し、13 時から 16 時の 3 時間で 12 問の 問題に挑戦した。

・結果：受験者のうち、209 名が JMO 本選に進む予定となった。そのうち、中学生は 20 名。

⑵ 参加者 4,921 名の在籍校種・学年の内訳

学校：高校 756 校、中等教育後期 21 校、高専 30、中学校 61 校、小学校 1 校、その他 2 校

学年：高校 3 年 52 名、高校 2 年 2,427、高校 1 年 2,321 名　（高校生計 4,800 名）

中学 3 年 78 名、中学 2 年　23 名、中学 1 年 14 名　（中学生計 115 名）

小学生 1 名、その他　5 名　　＜男 4,172 名、女 749 名＞

⑶ 地区表彰の実施

16 地区で、予選合格者（A ランク者）と合わせて応募者の 1 割程度を表彰した。地区表彰受賞者には賞状を学校長宛に送り、全校集会等で表彰していただくように依頼した。

なお、A ランク者は 207 名、地区表彰者は 319 名であった。

⑷ その他

8 月には、募集要項と財団通信を全国の過去 3 年間応募があった高等学校・中等教育学校に、募集要項を前年度の個人申込者に送付した。10 月には応募者全員と一括申込があった学校に、財団通信と高校生用教材「math OLYMPIAN」を送付した。

２．JJMO 予選の実施

⑴ 予選の実施方法と結果

・応募受付期間：9 月 1 日～10 月 25 日

・試験：2025 年 1 月 13 日(成人の日)に、オンラインにて実施した。

応募者数は 3,139 名（昨年より 73 名増）で、当日は 2,947 名（昨年より 56 名増）の生徒が参加し、13 時から 16 時の 3 時間で 12 問の 問題に挑戦した。

・結果：受験者のうち、103 名が JJMO 本選に進む予定となった。なお、小学生は 4 名であった。

⑵ 参加者 2,947 名の在籍校種・学年の内訳

学校：中学校　373 校、中等教育前期　26 校、小学校 18 校

学年：中学 3 年 1,101 名、中学 2 年 1,086 名、中学 1 年 738 名　（中学生計 2,925 名）

小学生 22 名　　＜男　2,347 名、女 600 名＞

⑶ 地区表彰の実施

15 地区（JMO は 16 地区）で、本選受験有資格者と合わせて応募者の 1 割程度を表彰した。地区表彰受賞者には賞状を学校長宛に送り、全校集会等で表彰していただくように依頼した。

なお、地区表彰者は 304 名であった。

(4) その他

8 月には、募集要項と財団通信を全国の過去 3 年間応募があった中学校に、募集要項を前年度の個人申込者に送付した。10 月には応募者全員と一括申込があった学校に、財団通信と中学生用教材「JUNIOR math OLYMPIAN」を送付した。

3．JMO 本選の実施

(1) 本選の実施方法と結果　　（　）は女子の人数で内数

2025 年 2 月 11 日（建国記念の日）に、全国 8 会場（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、岡山、松山、高知、福岡）で実施した。当日は、本選受験有資格者 209（5）名のうち、205（4）名が参加し、13 時から 17 時の 4 時間で 5 問の問題に挑戦した。

本選合格者は、20 (1)名で、代表選考合宿の参加予定者となった。

(2) 本選参加生徒の学年別人数　　（　）は女子の人数で内数

高校 3 年　7 (0)名、高校 2 年　99 (1)名、高校 1 年 79 (1)名、その他　0(0)名、

中学 3 年 15 (2)名、中学 2 年 4 (0)名、中学 1 年 1 (0)名、小学生 0（0)。

4．JJMO 本選の実施

(1) 本選の実施方法と結果　　（　）は女子の人数で内数

2025 年 2 月 11 日（建国記念の日）に、全国 7 会場（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、岡山、福岡）で実施した。当日は、予選合格者 103（3）名のうち 100（2）名が参加し、13 時から 17 時の 4 時間で 5 問の問題に挑戦した。

本選合格者は、10（0）名で、このうち上位 5 (0)名が代表選考合宿の参加予定者となった。

(2) 本選参加生徒の学年別人数　（　）は女子の人数で内数

中学 3 年 52(2)名、中学 2 年 35(1)名、中学 1 年 9 (0)名、小学生 4 (0)名

5．EGMO2025 コソボ大会に向けた国内選抜

(1) EGMO 一次選抜実施方法と結果

・応募受付期間：9 月 1 日～9 月 30 日

・試験：11 月 24 日（日）に、全国 3 会場（東京、大阪、福岡）で実施した。応募者 106 名中、85 名が参加し、13 時～17 時の 4 時間で 5 問の問題に挑戦した。

・結果：受験者のうち 11 名が合格となり、2025 年 1 月 13 日に実施する JMO の予選の結果と合わせて、日本代表選手を選抜することになった。

(2) JMO 予選における結果と EGMO 日本代表の選抜

当日は、合格者 11 名全員が JMO 予選に参加した。

JMO 予選結果と EGMO 一次選抜の結果を基に、EGMO2025 コソボ大会の日本代表 4 名を選抜した。

＜２＞　国際大会への取組と結果

１．第 65 回 IMO2024 イギリス大会関係

⑴ 事前指導

IMO 日本代表選手６名（高校３年４名、高校１年２名）に対して、４月に２泊３日の強化合宿、および４月から６月の間に４回の通信添削指導を行った。

① 実施体制：理事長の指揮のもとに、JCIMO 委員会指名チューターが中心となって、強化合宿指導者、添削者等を決定した。

②取組内容

・強化合宿を４月 27 日～29 日、国立オリンピック記念青少年総合センターで実施した。

・通信教育については、９名のチューターが、問題の作成・添削等を行い、指導に当たった。

⑵ IMO2024 イギリス大会（7/11~7/22）の結果

役員６名、選手６名（高校３年３名、高校２年２名、高校１年１名：全員男子)が参加し、金メダル 2、銀メダル 2、銅メダル 1、優秀賞 1 を獲得した。

なお、大会全体のメダル受賞者数は 326 名で、金メダル 58、銀メダル 123、銅メダル 145 で、総受験者数は 609 名であった。

また、国別成績では、全 108 カ国・地域中、日本は第 14 位であった。

２．第 13 回 EGMO2024 ジョージア大会関係

役員３名、選手４名（高校３年：３名、中学３年：１名）が参加し、銀メダル 3、銅メダル 1 を獲得した。

なお、大会全体のメダル受賞者は、総受験者数 212 名中 143 名で、金メダル 25、銀メダル 38、銅メダル 52、優秀賞 28 であった。国別成績では、日本は 53 ヵ国・地域（54 チーム）中、第９位であった。

３．第 14 回 EGMO2025 コソボ大会日本代表選手に対する事前指導

2025 年２月と３月に通信添削指導を行った。加えて、３月 26 日（水）から３月 28 日（金）にホテルコンチネンタル府中において、強化合宿を行った。

（参考）第 14 回 EGMO2025 コソボ大会は、2025 年４月 11 日～4 月 17 日に現地へ参加

４．APMO（第 37 回 APMO 第 21 回国内大会）関係

第 37 回 APMO は、2025 年３月、太平洋を挟んで西側各国は３月 11 日（第２火曜日）、東側の各国はその前日に、同時にコンテストを４時間で実施した。日本では、第 21 回 APMO 国内大会として３月 11 日に東京、大阪の２会場で実施し、JMO・JJMO 本選合格者の中で、JMO については高校３年生を除く受賞者、JJMO については代表選考合宿参加有資格者、合わせて 25 名が参加した。その結果、上位 10 名が第 37 回 APMO の代表者に選抜された。第 37 回 APMO の結果は、７月頃に確定する予定である。

＜３＞　研究・育成事業、その他

１．夏季セミナー

2024 年度は、山梨県・清里高原（ヴィラ千ヶ滝）で、生徒 27 名、チューター23 名で実施した。

２．問題調整会議の実施

問題調整会議を、9 月～11 月の毎週末に 11 回実施した。

３．代表選考合宿、及び表彰式

2025 年 3 月 20 日（木）～24 日（月）にホテルコンチネンタル府中で実施した。

⑴ 合宿参加生徒：21 名（男子 21 名、女子 0 名）

構成：高校 2 年 7 名、高校 1 年 8 名、中学 3 年 4 名、中学 2 年 1 名、中学 1 年 1 名、小学生 0 名、その他 0 名

⑵ 実施体制

理事長の指揮の下、チューター24 名が監督指導にあたった。

⑶ 実施内容

IMO コンテスト本番と同じ形式の試験 4 回（各回 4 時間半・3 問の記述式問題）を実施した。

⑷ 表彰式

JMO の表彰式は、2025 年 3 月 20 日（木）にホテルコンチネンタル府中で実施した。JMO の優勝者、金賞、銀賞、銅賞の受賞者には、前田理事長から賞状を、IMO メダリストからメダルを授与した。他の成績優秀者には、前田理事長から賞状を、IMO メダリストから楯を授与した。表彰式欠席の受賞者については賞状ならびにメダル・楯を自宅へ送付した。

JJMO の表彰式は、金賞、銀賞、銅賞の受賞者には、前田理事長から賞状を、IMO メダリストからメダルを授与した。表彰式欠席の受賞者については賞状ならびにメダルを自宅へ送付した。

４．機関誌・新教材の発行

⑴ 財団通信：No.67 (5/15)、No.68 (9/15)

No.67 では国内大会並びに EGMO の結果を、No.68 では国際大会の結果を中心にそれぞれ 28,000 部、25,000 部を作成し、8 月に過去 3 年間応募のあった JMO 応募校 1051 校、JJMO 応募校（中学校 659 校に送付した。

⑵ 先進的科学技術学習用カリキュラム新教材の発行（年 1 回発行）

① JMO 用教材「math OLYMPIAN」　No.72 (10 月）5,300 部

② JJMO 用教材「JUNIOR math OLYMPIAN」　No. 47（10 月）3,200 部

を発行し応募者全員に配布した。

５．役員会等の実施

⑴ 理事会・評議員会

① 2024 年 5 月 19 日（日）第 1 回理事会：13 時 30 分～15 時 40 分

＜内容＞ 2023 年度事業報告、収支決算報告、国際大会の結果等

② 2024 年 6 月 9 日（日）定時評議員会：13 時 30 分～14 時 50 分

＜内容＞ 2023 年度事業報告・収支決算報告、国際大会の結果、新評議員名簿、理事・監事の選任

③ 2024 年 6 月 9 日（日）第 2 回理事会（新理事会）: 15 時 30 分～16 時 30 分

＜内容＞ JMO 予選時期の変更に関する調査結果、新理事・監事名簿、会場責任者謝金の改定、新理事長選出

④ 2025 年 3 月 2 日（日）第 3 回理事会 : 13 時 30 分～14 時 40 分

＜内容＞ JMO 各種行事の結果、2025 年度事業計画・収支予算

⑤ 2025 年 3 月 2 日（日）臨時評議員会 : 14 時 40 分～15 時 20 分

＜内容＞ JMO 各種行事の結果、2024 年度事業計画・収支予算、IMO2023 日本大会収支報告

⑵ JCIMO

① 2024 年 4 月 6 日（土）第 1 回 JCIMO : 13 時 30 分～15 時 30 分

＜内容＞ IMO 日本大会日本代表選手・代表団の決定、チューター決定等

② 2025 年 1 月 26 日（日）Zoom を利用した第 2 回 JCIMO : 10 時 30 分～12 時 00 分

＜内容＞ EGMO コソボ大会日本代表選手・代表団の決定、JMO・JJMO 予選、JMO 日程変更に係る準備状況等

６．その他

⑴ ポスター（2025 年用）の作成

JMO 用 : A3 版 12,500 部、A4 版 10,500 部

JJMO 用 : A3 版 2,000 部、A4 版 15,000 部

JGMO 用 : A３判 12,500 部、A4 版 10,500 部

⑵ パンフレットの作成

2025 年版を、PR 用として 200 部を発注した。（納品は、2025 年 4 月 15 日）